



SAKI SUGIMOTO

## 高校でも目標は「全国制覇」

### 剣道から学んだ大切なこと

昨年は県予選で逆転負けしてしまい、全国大会に行くことができなかった。今年「中学最後の年」という意気込みで臨みました。大会前にチームがまとまらないなど、キャプテンとしての苦勞も経験しました。その一方で、親への感謝と仲間の大切さを学びました。悩んだときに相談に乗ってもらったこと。個人戦は緊張するばかりですが、団体戦は「みんながいる」と思うと緊張しないんです。

### 日頃から勉強との両立も心がける

練習や遠征で勉強との両立は厳しいですが、提出物をきちんと出すなどして両立を心がけています。進学後は鶴見を離れますが、先輩方と同じように時間があつたら戻って後輩と稽古したいと思います。高校進学以降も引き続き、個人・団体共に「全国制覇」が目標です。



### 杉本 咲妃さん(15歳)

潮田中学校3年生。2016年、県予選を制し、全国中学校剣道大会3位の同校女子剣道部をキャプテンとしてけん引した。また、個人戦でも関東大会優勝、全国大会ベスト8となり敢闘賞を受賞。

## オリンピックで金メダルをとりたい

### 練習することで実力と成績がついてくる

体操を始めたのは5歳の時、かなりやんちゃな子どもで、保育園の先生が体操をすすめてくれたことがきっかけでした。小学校2年生頃、学校の友人が自由に遊んでいるのを見て、遊びたい気持ちになることもあったけれど、次第に良い成績が残せるようになり、体操がどんどん楽しくなってきました。12歳以下の大会での個人総合2連覇も、1年目はまぐれだと思いましたが、2回目は「優勝できる」と確信していました。

### 体操は美しくないダメ

中学生になり、大会では高校生と競うようになりました。力の強さでは高校生にかないませんが、着地やひざ・つま先まで気を配り、ノーミスで演技できれば上にいきます。体操は美しくなければダメなんです。当面の目標は、全日本ジュニア体操競技大会2部と全国中学校体育大会(体操競技)で優勝すること。そして、将来はオリンピックで金メダルがとりたいです。



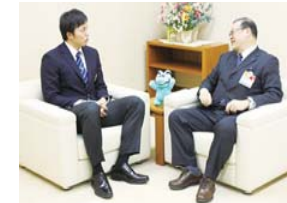
### 築山 翔馬さん(13歳)

矢向中学校1年生。鶴見ジュニア体操クラブ所属。小学5・6年生時に全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会で男子個人総合2連覇を果たす。日本体操協会2016年度強化指定選手。

## 鶴見の野球少年がプロの世界へ…

## interview 田中正義投手

鶴見区で生まれ育ち、今年からプロ野球選手として新たなスタートを切る田中正義投手。従父区長が、夢を叶える秘訣などを伺いました。



### 田中さんにとって、鶴見はどんな街ですか？

生まれてから中学卒業まで鶴見区で育ちました。人格が形成された場所です。小中学校は野球ばかりでしたが、リトルリーグの練習後は毎週のように仲間や監督の家に遊びに行くなどした、思い出深い街です。



### 野球を長く続けてきて、良かったこと、大変だったことはありますか？

甲子園や全国優勝を目指してやってきたので、つらいことのほうが多いです。けれど、その中で自分自身の成長を感じ、上を目指さないとできない経験ができたことはこれからの財産になっていくと思います。



### ずばり、夢を叶える秘訣は？

夢の実現には、「考える力」と「努力を継続する力」が必要だと思います。「考える力」とはがむしゃらに頑張るだけではなく、効率的に成果を出すために、自分の足りないところを客観的に見る力です。

### 最後に、鶴見で夢を追う若者に応援のメッセージをお願いします

今頑張っている人は、好きなことに打ち込むこと、努力をすることの必要性や大切さをすでにわかっている人。つまり、努力をする才能を持っている人だと思います。

あとは、自分のやりたいように、なりたいた人間になるために、よそ見をせずに目標に向かって突っ走ってください。



(提供:創価大学)

### 田中正義投手(22歳)

創価大学野球部所属。上末吉小学校、末吉中学校卒業。大学リーグで連続無失点記録を築くなど活躍。2016年ドラフト会議で5球団から1位指名を受け、交渉権を得た福岡ソフトバンクホークスへ入団。

区役所広報相談係 ☎ 510-1680 ㊟ 510-1891

つるみで はじまる

# わたしの未来へ

今年、鶴見区は区制90周年を迎えます。この機会に、区内で頑張る十代の若者にインタビュー。今考えていること、将来の夢などを語ってもらいました。



MOENO MIYASHITA

## 将来は宇宙に関わる仕事に

### ロボットのアイデアは身近なものから

横浜サイエンスフロンティア高校を選んだのは、工学に興味があったからです。ここは「やりたい」と言えば親身に応援してくれるので、可能性の広がりを感じます。将来は、航空宇宙工学を学び、宇宙に関わる仕事に就けたら、と考えています。

今回出展したロボットは、「植物性ペットボトルを見つけ、糸状にして、編む」というもの。これは、身近なものを活用して今までにないものがないか、と考えて思いつきました。

### 3人の得意分野が違うから補い合える

ロボット作りは失敗と改良の繰り返しですが、チームの2人とはそれぞれ得意分野が違うからこそ、話していると新しいアイデアが生まれ、補い合えるんです。

鶴見には企業の研究所も多く、研究員の話や会話を伺う機会もあります。これからも好奇心のアンテナを広げ、挑戦し続けて将来の夢につなげていきたいと思っています。



### 宮下 萌乃さん(17歳)

横浜サイエンスフロンティア高校2年生。友人2人とのチームで2016年11月にインドのニューデリーで開催された国際的ロボットコンテスト・WRO(ワールドロボットオリンピアード)世界大会に日本代表として出場、4位入賞。

## ずっと音楽を続けていきたい

### 大会は練習したことを出し切るだけ

マーチングバンド部で活動する姉に憧れて、3年生で入部しました。トランペットを選んだのは、「カッコいいよ」という人の勧めからです。大会前は週6日、夏休みもほぼ毎日練習があったり、昨年副部長さらに今年部長になり、人をまとめる大変さを感じたりと、つらくなることも。けれど、それを乗り越えたからこそ、先生や仲間へ感謝し、自分の技術や心の成長を感じることができました。全国大会など大きな舞台は緊張はありますが、やってきたことを出し切るだけだと思えます。

### 卒業までに後輩に伝えたいこと

全国大会から卒業まで、まだマーチングをするイベントがあります。その間に私が学んできたこと、たとえば自分のことだけではなく全体に目を配るなどを後輩に伝えてから卒業したいです。

将来どうしたいかまだはっきり言えませんが、音楽関係の仕事ができたらな、と考えています。



### 平津 汐梨さん(12歳)

平安小学校6年生。マーチングバンド部所属(トランペットパート)。部長として、部員約50人をまとめる。同部は2016年12月にマーチングバンド全国大会に出場し、優秀な成績を収める。

SHIORI ARATSUKI